

## 第96回メーデー集会 県内各地で開催！

次代につなぐ 平和の願い！  
みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来(あした)を！

県内各地で第96回メーデーが開催されました。当日は、各地区において組合員・家族を含めてたくさんの皆さんにご参加いただきました。

メーデー集会会場では、すべての働く仲間との連携と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを宣言するとともに、次のことを参加者へ訴えました。

- 2025春季生活闘争を通じた物価高を超える賃金水準の獲得により、暮らしの底上げ・底支え・格差是正に向けた継続的な取り組みに加え、今次春闘の大幅な賃上げの流れを、私たち労働組合が先頭に立つ

て長崎県の地場・中小企業やすべての働く人たちに波及させること。

- 被爆地長崎の県民、労働組合として、核兵器廃絶と世界の恒久平和を引き続き訴え、被爆者の思いを継承し、二度と戦争はさせないという強い決意と行動を通じて、民主主義を守り、貧困や格差のない平和で笑顔あふれる未来の実現を求めていくこと。
- 次期参議院通常選挙では、総力を結集し、政策・理念を共有する推薦候補者(選挙区・比例区)全員の勝利を目指し取り組んでいくこと。



長崎地区メーデー 5月1日(木)10:30～  
旧長崎県庁跡地グラウンドエリア 参加者:2,700人



諫早地区メーデー集会 5月1日(木)18:00～  
高城会館 参加者:300人



島原地区メーデー 5月1日(木)10:00～  
島原市霊丘公園体育館 参加者:256人



大村地区メーデー 5月1日(木)18:30～  
シーハットおおむら 参加者:230人



吉岐地区メーデー 4月26日(土)13:00 ~  
大谷公園体育館 参加者数:162人



対馬地区メーデー 5月1日(木)18:00 ~  
対馬市交流センター 参加者数:142人



佐世保地区メーデー 5月1日(木)10:00 ~  
佐世保市島瀬公園 参加者数:465人



北松・平戸・松浦地区統一メーデー 5月1日(木)18:30 ~  
平戸市たびら活性化施設 参加者数:198人



五島地区メーデー 5月1日(木)18:00 ~  
福江総合福祉保健センターホール 参加者数:169人



上五島地区メーデー 5月1日(木)18:30 ~  
新上五島町石油備蓄記念会館 参加者数:76人

**ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！！**

## 「連合長崎寄付講座」が開講！

連合長崎は次世代を担う働き手である学生に「労働のあり方や現場の課題」、「行政と労働組合の役割」を理解してもらうとともに、「職業意識」を高めてもらうことを目的として「連合長崎寄付講座」を長崎大学経済学部で開講しています。4月9日(水)のオリエンテーションを皮切りに寄付講座がいよいよ始まりました。講義室には、今年も多く多くの学生が集まり、受講しています。

第2回目の講義からは実際の講義が始まり、毎週水曜日の午後に講義を行っています。これまで、連合長崎高藤会長をはじめ、教育文化協会の相原理事長、

連合本部則松副事務局長、連合長崎山口副会長(運輸労連)、こくみん共済coop様や九州労働金庫様にもご講義をいただきました。

今後も、連合本部井上副事務局長をはじめ、長崎県の馬場副知事、長崎市鈴木市長、長崎労働局倉永局長を講師としてお招きし、7月23日まで講義を行います。今後の日本、そして長崎の将来を担う学生たちに「働くことの意味」や「労働組合の必要性」などを伝えていけるよう、講師一同、頑張ってまいります。

# 「2025春季生活闘争勝利！第27回参議院選挙勝利！政策・制度要求実現！」 長崎地区総決起集会

## !!! みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月1日（土）10時30分から旧長崎県庁跡地（長崎市）にて「2025春季生活闘争勝利！第27回参議院選挙勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、

構成組織、政党関係者、長退連など併せて720名の方々にご参加いただきました。また、連合本部より北野眞一副事務局長にもお越しいたき、集会での連帯のあいさつとデモ行進までご参加いただきました。



連合長崎高藤会長



連合本部  
北野副事務局長



国民民主党長崎県連  
西岡代表



立憲民主党長崎県連  
白川幹事長



社会民主党長崎県連  
坂本幹事長



連合長崎女性委員会  
吉武副委員長



連合長崎推薦候補者



連合長崎地協塩田議長によるガンバロー三唱



デモ行進



春闘決起集会参加者

## 2025春季生活闘争総決起集会アピール



2025春季生活闘争はいよいよヤマ場を迎える。

今、私たち働く者の生活は、物価の影響により昨年以上に厳しさが増している。生活向上のためには、本闘争で全ての組合が「月例賃金」にこだわり、昨年以上の賃上げを実現するとともに、賃上げを可能とするため、公共調達部門も含めたすべての分野における価格転嫁と公正取引を徹底する必要がある。

組合員はもとより、すべての働く仲間へ持続的な賃上げの流れを波及させなければならない。ここ数年の賃上げの流れも労働組合がある企業の賃上げが中心となっている。労働組合があるからこそ要求し、労使対等な交渉ができるのであり、今こそ、労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させ、強い意志を持って仲間づくりを行っていこう。

すべての働く仲間が生活向上を実感し、安心して働くためには賃上げ闘争だけでは実現しない。労使交渉で解決できない課題を、運動の両輪である政策・制度の取り組みを通じて実現させていかねばならない。そのためにも、7月に予定されている第27回参議院議員選挙では、国民の生活を守る政治の実現に向けて、連合長崎が推薦する「深堀ひろし」氏、そして、連合が推薦する10名の比例候補予定者を国政に送り出し、私たちの手で「政治が変わる」歴史的瞬間を作り出そう。

いまこそ、私たち働く仲間が力を合わせて行動する時である。「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」「みんなでつくろう！働く仲間の労働組合」、断固たる決意を持って組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜こう！

2025年3月1日

2025春季生活闘争勝利！第27回参議院選挙勝利！政策・制度要求実現！

長崎地区総決起集会

### 協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

令和7年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.17% → 10.41%

介護保険料率

1.60% → 1.59%

保険料率は都道府県支部ごとの医療費水準等に基づき決定しています。

保険料率についての特設サイトはこちら▶



みなさまが自分らしく安心して働けるように。

協会けんぽは、働くあなたのそばにいます。



※ 任意継続被保険者の方は、令和7年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。  
※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。



全国健康保険協会 長崎支部

協会けんぽ

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)  
(受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町9-22 大久保大黒町ビル本館8階

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

協会けんぽ

検索

## 3.8国際女性デー 長崎集会

# 今こそジェンダー主流化の加速を！

3月1日(土)14時から長崎県勤労福祉会館(長崎市)において、3.8国際女性デー長崎集会を開催いたしました。

この3.8国際女性デー長崎集会は、「連合長崎ジェンダー平等推進計画 フェーズ1」にて策定した「Change / 達成目標」の一つである「ジェンダー平等に関する理解を深めるための学習会」として実施しているものです。

冒頭、連合長崎女性委員会亀本委員長は、「今年は国連が3月8日を国際女性デーと定めてから50年目の節目に当たります。日本のジェンダーギャップ指数はG7で最下位であるだけでなく、他のアジア主要国にも遅れをとっています。本年の3.8国際女性デー全国統一行動のテーマは「一人ひとりのパワーの結集！社会を変える取り組みの加速へ」です。一人では状況を変えていくことは難しくても、私たち一人ひとりが意識を持ち、行動を起こすことで、より公正で持続可能な未来を築くことができます。本集会を通じて、皆さん

が新たな視点を得て、日常生活の中でジェンダー平等を推進するための具体的な行動を考えるきっかけとなれば幸いです。私たちの小さな一歩が、大きな変化を生む力となります。誰もが多様性を認め合える公正な職場・社会を実現していきましょう。」と挨拶しました。

集会では、連合長崎推薦議員である「白川あゆみ」長崎県議会議員から、「ジェンダー平等と多様性」と題して長崎県の現状を踏まえた講演をいただきました。

参加者からは、「長崎の現状に暗い印象を受けた」「県として男性の育休取得率向上に向けた取組が必要と感じた」「ジェンダー平等に関して、女性の中にも男尊女卑の考え方の方は居るし、男性の中にも男女平等に真剣に取り組んでいる人もいると思う」という意見や感想が寄せられました。

連合長崎では、今後も、女性委員会を中心にジェンダー主流化の加速とジェンダー平等社会の実現をめざして取り組んでまいります。



女性委員会 亀本委員長挨拶



講演 白川あゆみ長崎県議会議員

### 国際女性デーとは？

1857年3月8日、米国のニューヨーク市で被服工場や繊維工場働いていた女性たちが抗議行動を起こしました。彼女たちは非人間的な労働条件と低賃金に対して抗議の声を上げたのです。警察は抗議者たちを襲撃しましたが、2年後の3月、彼女たちは初めて労働組合を結成して自らを守り、職場における基本的権利を獲得することに努めました。

1908年3月8日、15,000人の女性が労働時間の短縮、賃上げ、選挙権、児童労働の廃止を訴えて「パンとバラ」のスローガンを掲げ、ニューヨーク市内をデモ行進しました。パンは賃金や労働条件などの経済的安定、バラは女性の尊厳として生活の質の向上を示しています。

1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際会議婦人会議」で、ドイツのクララ・ゼトキンが、「米国の被服労働者のストライキを記念する日を国際的な性格をもつ女性デーとして、世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国から参加していた100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。そして、この「国際女性デー」は、選挙権を含む女性の権利のための運動の栄誉を称える日として確立されたのです。

連合では、1996年から春季生活闘争の統一行動として、全国の仲間と共にこの行動に取り組んでいます。

# 2025年新年交歓会を開催

～社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～

連合長崎と連合長崎地協は、共催で1月7日(火)18時30分からホテルニュー長崎(長崎市)において「2025年新年交歓会」を開催しました。県内各地より構成組織役員の皆様、県議、市議、町議等の各級議員や、労働福祉団体等の皆様、その他友誼団体のご来賓の皆様など、約180人が参集する盛大な新年交歓会となりました。

主催者挨拶にて高藤会長は、「去年は、能登半島地震と、その後の豪雨災害で、石川県を中心に北陸地方では、大変な年となった。近年は、全国的に異常気象により災害が発生している。地震に加えて豪雨災害等にも備えなければならない。

新年早々ではあるが、万が一に備えた対策を各個人や組織において、講じて頂きたい。」とし、次の3点に触れ、挨拶を行いました。

①去年は、各産別・単組の労・使において、現状を踏まえて真摯に、賃上げ交渉を行った結果、5%を超える賃上げを果たすことが出来た。しかし、それでも実質賃金をプラスに転じさせることは出来ず、中小組合の妥結結果は、大手と比べて低い状況であった。従って、今年の春季生活闘争は、これまでの賃上げの流れを止めずに、更に中小組合の格差是正を求める闘争となる。そのため、今年の方針は全体で5%以上の賃上げとしたうえで、中小組合では、格差是正分の1%をプラスした6%を、積極的に要求することとしている。

長崎県は中小企業がほとんどであり、その中小企業での賃上げが厳しい事も承知しているが、この全国の流れに長崎が取り残されないためにも、「労務費を含む適正な価格転嫁」が進む環境整備に全力で取り組み、「物価が上がれば賃金も上がる社会」を目指して行く。

②先の衆院選の結果を受けて、与党が過半数割れになったため、去年の臨時国会を見ても分かる通り、

野党を交えた政策論議が行われている。本年は五島市・諫早市はじめとする中間選挙や、7月には参議院選挙が施行される。

労働者・生活者の意見が通る政治を創るため、中間選挙はもとより、参議院選挙における比例代表の組織内候補者の勝利と、長崎選挙区の「深堀ひろし」さんの勝利をめざし取り組みを展開していく。長退連の先輩方とも連携し、現退一致の総力を挙げたご協力をお願いしたい。

③今年は、原爆が投下され80年の節目の年。世界的には日本被団協のノーベル賞受賞や、来年のNPT再検討会議に向けた準備が進められ、恒久平和を求める機運は高まっている。しかし世界情勢は、依然として緊迫した状態が続き危険な状況にある。

私たちは毎年、連合の平和4行動として、6月の沖縄、8月の広島・長崎、9月の北海道根室で、平和集会等を開催しているが、今年は80年の特別な年となるため、この平和4行動とは別に、全国の仲間とともに「世界の恒久平和と核兵器廃絶」を世界に求める行動を、検討している。皆様のご協力をよろしくお願いしたい。と力強くあいさつをしました。

その後、多くのご来賓を代表して、大石賢吾長崎県知事、鈴木史朗長崎市長をはじめ、長崎労働局長、国民民主党長崎県連代表、立憲民主党長崎県連代表、社会民主党長崎県連代表よりあいさつを受けました。

最後に塩田淑文長崎地協議長による気合のこもったガンバロー三唱で締めくくり、2025年新年交歓会を終了しました。

連合長崎、連合長崎地協は、2025年も構成組織の皆様と一丸となって各種取り組みを行ってまいります。各構成組織の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



高藤会長挨拶



各種選挙推薦候補者とガンバロー三唱



# 思いよお米よ子どもたちへ届け!

## ～アジア・アフリカ支援米発送式 開催～

1月9日(木)、アジア・アフリカ支援米の発送式を長崎市役所前広場で執り行い、たくさんの皆様にお越しいただきました。今年は連合長崎各地協・ブロックで収穫したお米が2,325kg、皆様のカンパから購入したお米が600kg、全部で2,925kgのお米を、アフリカのマリ共和国・カンボジアのくっくま孤児院・長崎県内の子ども食堂(23か所)とひとり親家庭など生活困窮世帯を支援する「つなぐBANK」に届けます。長崎県、長崎市の各行政をはじめ各級議員の皆様、御来賓の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



お米贈呈(子ども食堂ネットワーク)



お米贈呈(つなぐBANK)



# 政策・制度学習会で理解を深める

～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～

連合長崎は、働く者・生活者が求める政策・制度の実現に向けて、長崎県に対し(各地協は市町に対し)、政策・制度要求行動を毎年行っています。

この政策・制度実現に向けた取り組みへの理解を深めるため、5月22日(木)に長崎県勤労福祉会館2階講堂(長崎市)において「連合長崎2025年度 政策・制度学習会」を開催し、構成組織、地協・ブロック、長退連、及び政党・各級議員より64名の方にご出席いただきました。

本学習会では例年、連合本部より講師をお招きし、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けた政策・制度要求の取り組みと「連合の重点政策」についてお話しいただいておりましたが、県政の状況について知りたいとの

声があったことから、国民民主党長崎県参議院選挙区第1総支部深堀ひろし総支部長を講師としてお招きし、「県政の状況と政策」についてご講演をいただきました。また、参加者からのご意見や要望にもお答えいただきました。

その後、連合長崎の西野副事務局長から、現在取りまとめ中の「2025年度長崎県に対する政策・制度要求書(案)」について提起しました。要求書は、参加者の意見などを踏まえて最終的な内容を確定し、「価格転嫁や長時間労働是正の推進」「県民所得向上に向けた取り組み」「カスタマーハラスメント対策」など、13分野24項目の要求を7月28日(月)に長崎県に対して提出する予定です。



政策委員会 堀江委員長



質問する参加者



講演  
国民民主党長崎県参議院選挙区  
第1総支部 深堀ひろし総支部長

## 《連合がめざす社会像とは》

- ・働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会である。
- ・加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性別、障がいの有無、国籍などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会、すなわち「つづく社会」「つづきたい社会」である。